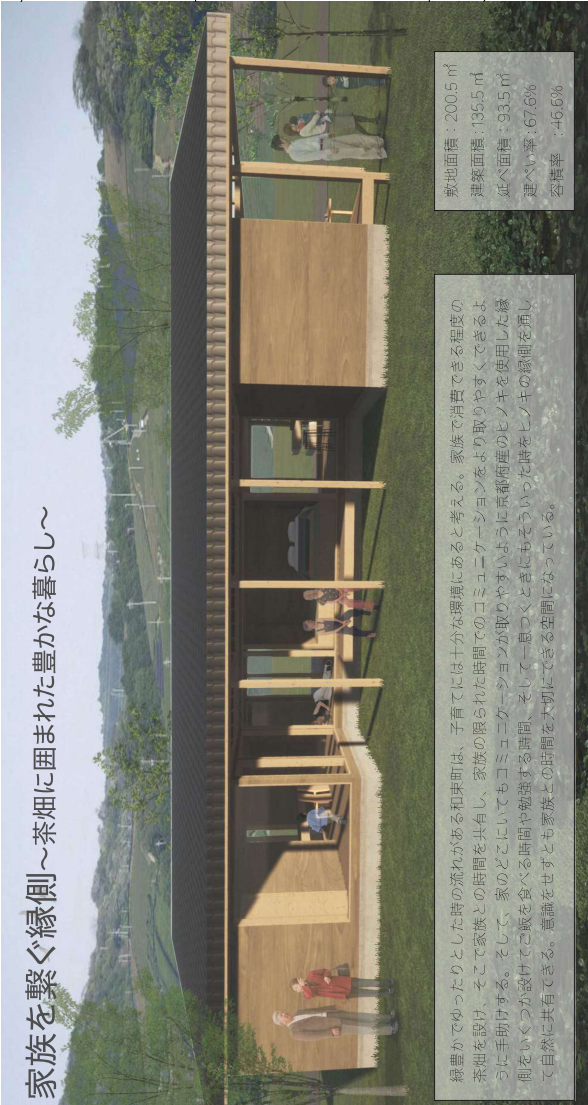


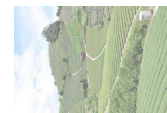
家族を繋ぐ縁側～茶畑に囲まれた豊かな暮らし～



敷地面積：200.5㎡
 建築面積：135.5㎡
 延べ面積：93.5㎡
 建ぺい率：46.6%
 容積率：46.6%

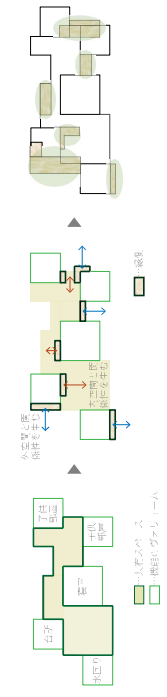
緑豊かでゆったりの時間の流れが流れる和束町は、子育てには十分な環境にあると考える。家族で消費できる程度の茶畑を設け、そこで家族との時間を共有し、家族の限られた時間でのコミュニケーションをより取り取りることができるように手助けする。そして、家のことにおいてもコミュニケーションが取りやすいように茶畑周辺のヒノキを使用した縁側をいくつか設けてご飯を食べる時間や勉強する時間、そして一息つくときにもそういった時間をヒノキの縁側を通して自然に共有できるように意識をせよとも家族との時間を大切にできる空間になっている。

敷地概要 - 京都府相楽郡和束町 -



計画敷地は京都府の南端、奈良平城京と「治平等院」とのほぼ中間に位置する和束町をイメージした。この町の山脈には茶畑が広がっている。茶畑と集落が一体となった美しい景観と、米のある生活から派生した茶文化は地域の人が大切にしている地域資源である。

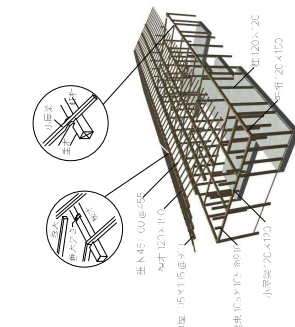
自然とコミュニケーションが生まれる空間構成



各機能を収容するヴォリュームを配置することで間に中間領域が生まれ、家族間の共有のスペースができる。

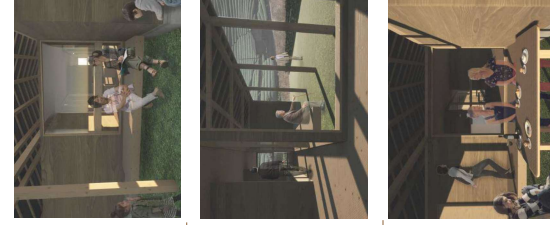
更にヴォリュームの周りに縁側を張り巡らせることにより、多目的な「居場所」ができる。

構造とマテリアル



屋根：瓦
 柱：床（縁側）：ヒノキ
 梁・壁・天井：スギ（和束町湯畑地区産）
 和束町では昔から林業の盛んな土地であり、特に湯畑地区の山には真っ直ぐに伸びた良質な木が豊富に存在している。地元で育った木材を使用することで、建築と風土がより密接なものになる。自然な風を取り入れ、快適な住空間を作ること生活を豊かにすることになる。

庭と縁側の繋がりがから木のぬくもりを感じる暮らし

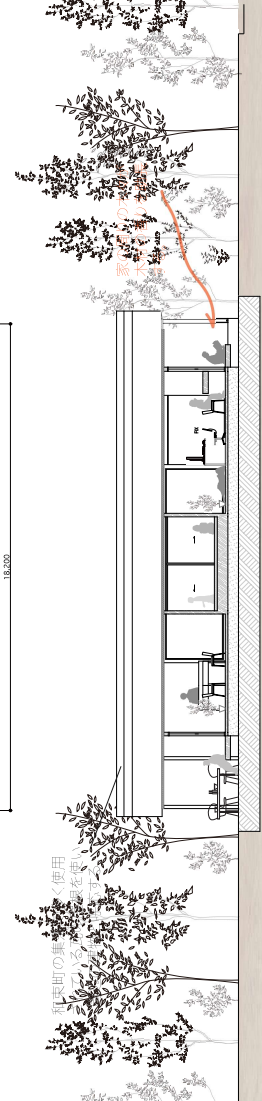
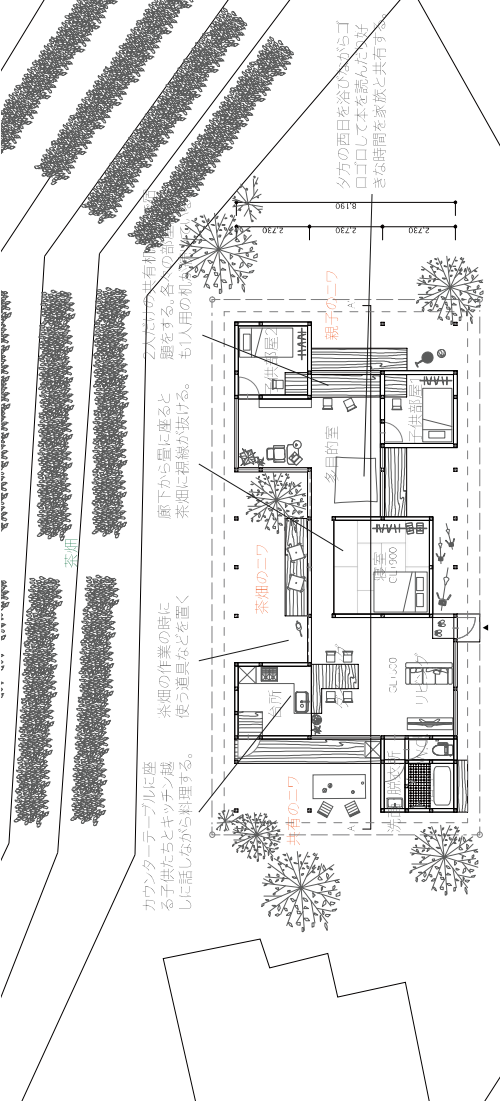


①親子のニワ
 子供たちが思い思いに駆け回ることができ、縁側では親同士のコミュニケーションが取りやすくなる空間ができる。

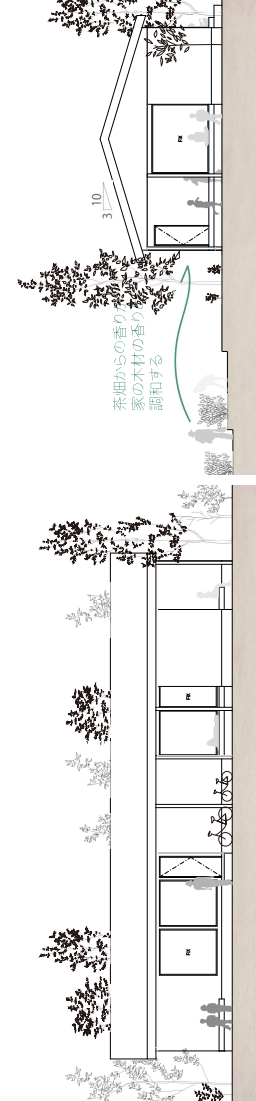
②茶畑のニワ
 作業で疲れた時に一休み。縁側に座って茶畑を眺めながら一息つく。摘んだ茶葉で作ったお茶を飲むのも一興。

③共有のニワ
 縁側はちよこっとうち寄り近所の人との交流スペースになったり、庭で行うパーティーで活用される。

① 平面図 S=1/100



AA' 断面図 S=1/100



短手立面図 S=1/100

